

墓老連ニュース

第143号

墓老連の目的

老人団墓同好会の誰もが、活きいきと生命力を維持し“墓を楽しむ”ことができるよう、機会と場所を確保する為に相協力し、団墓を通じて親睦をはかり、更には、より良き福祉社会に貢献することを念願する。

発行日	平成15年2月22日
発行所	八王子の墓を楽しむ老人連合
住所	八王子市台町3-22-1-121
TEL	(0426) 25-9529
発行人	三上 靖宏
編集者	小池 英一

第13回活きいき団墓浅川大会のご案内

日 時 平成15年4月20日(日)午前9時
 会 場 東浅川保健福祉センター(東浅川町551-1、電話67-1331)
 主 催 浅川寿団墓同好会(会長真田誠次、めじろ台3・12・1、電話63-5107)
 共 催 八王子の墓を楽しむ老人連合(墓老連)
 後 援 八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院
 参加資格 八王子に在住している60歳以上で10級以上の団墓愛好者
 参加費 700円(弁当代を含む)
 競技方法 クラス別に行い各クラスとも3位までの入賞者に賞状を授与する。
 特 典 成績により11月9日の八王子大会に推薦する。
 注意事項 自家用車でのご参加はなるべくご遠慮ください。
 所属区域外から参加される方は所属されている同好会会長の承認を得て下さい。

第4回墓老連棋聖大賞成績表 (1月26日)

参加者23名

棋聖大賞		徳永 終七郎 9段		神宮寺 敏郎 7段	
準優勝	永安 浩二 9段	三上 靖宏 7段	長崎 洋三 9段		
3位	真田 誠次 7段	赤崎 一郎 7段	六本木 茂 3段		
4位	名取 豊彦 9段	豊田 弘伯 4段	荒井 良夫 9段		
信江 峻 7段	永安 浩二 9段	徳永 終七郎 9段	神宮寺 敏郎 7段		
田村 和昭 7段	西山 孝二 5段	三上 靖宏 7段	長崎 洋三 9段		
真田 誠次 7段	大川 倭男 7段	赤崎 一郎 7段	六本木 茂 3段		
吉田 友二 2段	山崎 稔 3段	豊田 弘伯 4段	荒井 良夫 9段		
江口 靖穎 7段	高本 衛 7段	松田 礼治 4段	小川 勇 7段		
藤井 忠明 7段	名取 豊彦 9段	山本 淳三 6段			

第10回碁老連タイトル争奪戦成績表 (2月16日)

八王子名人戦成績表

八王子名人 赤崎 一郎 7段 (8段に昇段)

決勝戦出場者

赤崎 一郎 7段	江口 靖穎 7段	三上 靖宏 7段	塙原 和利 5段
真田 誠次 7段	野口 博 6段	江口 靖穎 7段	佐宗 源治 6段
赤崎 一郎 7段	五十嵐 寛 6段	浅野 照明 6段	塙原 和利 5段
森本 豪 5段	西山 孝二 5段	嶋崎 禮樹 4段	岡部 隆男 5段
松田 札治 4段	中村 幸雄 4段	後藤 徳夫 2段	斎藤 吉明 2段
岩松 清初段	長谷場 巍 1級	甲斐 正憲 2級	三上 靖宏 7段

八王子王座戦成績表

八王子王座 石川 進 2段 (3段に昇段)

決勝戦出場者

下田 政男 2段	中村 幸男 2段	石川 進 2段	大場扶美夫 6段
神宮寺敏郎 7段	鎌倉 正曠 6段	中邑 豊 6段	山本 淳三 6段
木島 洋治 6段	大場扶美夫 6段	梅沢 淳 5段	八木 義光 4段
橋本 悅二 5段	岡本 昭二 4段	三浦 和夫 3段	大内 勝義 2段
下田 政男 2段	倉井 敏夫 2段	石川 進 2段	笠本 梅吉 2段
中村 幸男 2段	大山 芳雄初段	田村 強初段	塙 雄幸 1級

八王子天狗戦成績表

八王子天狗 石神 芳雄 5段 (6段に昇段)

決勝戦出場者

石神 芳雄 5段	根津 英雄 2段	安西 実 4段	松浦 辰寿 6段
大川 倭男 7段	松浦 辰寿 6段	信江 峻 7段	下重 利雄 6段
林 国正 5段	石神 芳雄 5段	戸野 敦充 5段	清水 文彦 4段
松島 祐造 4段	安西 実 4段	六本木 茂 3段	町野 年明 3段
山崎 修路 3段	吉田 征也 3段	端山 昌夫 3段	小林 富男 2段
根津 英雄 2段	野口 勝久 3級	大里 宏 4級	

赤崎一郎氏快挙！ 初の8段誕生

八王子名人となった赤崎一郎氏（由木）は昨年度の碁老連大会（14.1.27）、

活きいき八王子大会（13. 11. 11）の優勝と併せて初の8段昇格となった。

注・ 平成13年度より改定された昇格規定抜粋（碁老連ニュース131号）
 「7段格の人の昇格は、連続する2年間において3大会のすべてに少なくとも
 1回ずつ優勝する事を条件とする」

これまでのタイトル保持者

回	年度	名人	王座	天狗
1	5	戸泉 嘉治	佐藤 貞人	清水 勇
2	6	山本 淳三	小川 勇	関戸 一郎
3	7	真田 誠次	高橋 實	早川 泰
4	8	真田 誠次	神宮寺敏郎	優勝者失格
5	9	真田 誠次	浅野 照明	神宮寺敏郎
6	10	佐藤 豊志	梅沢 淳	細野 秀映
7	11	真田 誠次	五十嵐 寛	信江 峻
8	12	真田 誠次	赤崎 一郎	石川 哲
9	13	藤森 立喜	神宮寺敏郎	大場扶美夫
10	14	赤崎 一郎	石川 進	石神 芳雄

子ども囲碁教室

昨年6月より「子供囲碁教室」を開催しておりますが、碁老連ニュース第47号(H5. 12. 8)に(故)熊崎 正一氏の記事がありましたのでご紹介いたします。

「お孫さんに囲碁の手ほどき」を提唱

我々老人にとりましても、旧来のような“余生を楽しみながら楽隱居”などと呑気に構えている時代ではないようです。

この際、気力を振り絞って、国や社会のために一肌脱いで頂こうという寸法です。

即ち、皆さん方は幸いにも囲碁という最高の特技を持っていらっしゃるので、これを活用し、社会奉仕のつもりで、碁の手ほどきと共に、小学6年生位今まで御指導して頂きたいと言う事です。

その見返りとして、お孫さんの成長振りを楽しみながら余生を送れる等、幸福に満ちた老後生活を満喫できるのではないでしょうか。さて、囲碁の効能について、次のような情報をお知らせ申し上げます。

1. 学校教育は、知識一辺倒の詰め込み主義を強制し、その結果として、無気力な左脳人が数多く出来上がっているようですが、それに反し、囲碁は、右脳の基本的訓練、即ち、思考力、創造力、記憶力、更には、集中力、忍耐力、決断力などを養成し、自然の中に、理論的応用力、全体を見る目を養うなど、柔軟な思考方法を身につけるのである。
2. 囲碁を単なる遊びと考え、勉強に妨げになるなどと考えている人は、全く時代遅れも甚だしい。

即ち、学習は左脳中心で、囲碁は右脳主体である為に、むしろ学習で疲れた脳を囲碁で活性化させる効果が認められている。

3. 将来、日本を背負って立ち、世界平和に貢献し得る人材を確保する為には、積極的に右脳開発に努力し、知育、体育、德育、が一体となったバランスの取れた人格の持ち主を養成せねばならない。

即ち、囲碁は、その目的達成の為の重要な要素を占めているのである。

4. 前記3項目で申し述べたように、有能な人材の育成が主眼であって、碁打ち人間を作るのが目的で無いという事を理解して頂きたい。

次に、特に囲碁の手ほどきについて、御参考までに申し上げますが、1歳から3歳までは、当初、碁石や碁盤をおもちゃとして自由に遊ばせる。

次第に馴れてくるに従って、石の並べ方を教えたり、2人での対局を見せたり等、知らず知らずの中に、碁は一人では打てない、簡単で自由なゲームだが変化があり、創造があり、未知の世界への無限の奥深さ、魅力のようなものを感じ取る、いわゆる、感性を身につけるのである。

但し、次のような三つの重要ポイントに留意しなくてはなりません。

即ち、第1は、繰り返し繰り返しやること、第2は、説明は無用である事（理屈や説明は4歳以降でなくては判らない）、第3は、効果を急がない事、等である。理解する事と知る事とはまったく別である。その効果が現れるのは4歳以降で、素晴らしい能力となって開花することは必定です。

以上

子ども教室参加状況

実施回数 16回
平均参加者数 16.8人
男性比率 65.4%
参加校
中学校 2校 一中、陵南中
小学校 14校 東浅川、散田、みなみの、第八、元八、 横山第二、浅川、元木、城山、第七、 玉川、長沼、元八東、野川、
年齢別 (14.10.19 以降延 140名内訳)
6歳—7 7歳—7 8歳—25
9歳—14 10歳—69 11歳—3
12歳—1 13歳—11 14歳—3

実施日別	男	女	合計
14. 6. 1	2		2
6.15	4	1	5
7. 6	3	4	7
8. 3	5	3	8
8.17	1	3	4
9. 7	28	10	38
9.21	23	15	38
10. 5	16	11	27
10.19	14	8	22
11. 2	12	3	15
11.16	10	4	14
12. 7	13	3	16
12.21	9	6	15
15. 1.18	14	5	19
2. 1	11	9	20
2.15	11	8	19
合 計	176	93	269

役員会報告

業務運営室の事務長に端山 昌夫氏(台町)が就任されました。よろしくお願いします。